

やまぐち子ども・子育て応援
コンソーシアム連携取組創出
ガイドライン

第2版

令和7年2月

山口県こども政策課

目 次

第1章 やまぐち子ども・子育て応援コンソーシアムとは

1 参画企業・子育て支援団体	2
2 連携取組のメリット	4
3 参画にあたって	4
4 連携取組にあたって	4
5 コンソーシアム事業の基本的な流れ	5
(参考) エントリーシート	6

第2章 連携取組に向けた準備及び取組後の対応

1 連携相手の探し方	9
(1) エントリーシートの確認	9
(2) 地域別意見交換会への参加	9
2 連携希望相手との調整	10
(1) 連絡方法	10
(2) 電話連絡時の要点	10
(3) 直接説明する場合	11
(4) 直接説明できない場合	11
3 連携取組内容の調整	12
(1) 例①：企業の広報媒体や子育て支援団体の活動を活かした情報の周知	12
(2) 例②：団体の知識や企業のサービスを活かした講座の開設	13
(3) 例③：団体のネットワークを活かした商品の提供及び広報	15
4 取組後の対応	16
(資料1) 講座関係資料	17
(資料2) 報告書	21

第3章 事例紹介

1 「発達障害の啓発展示」(企業の空きスペースの有効活用)	23
2 「イクメン座談会」(育休取得への理解促進)	24
3 「妊婦応援パック」(自社事業を活かした子育て支援)	25

【改訂履歴】

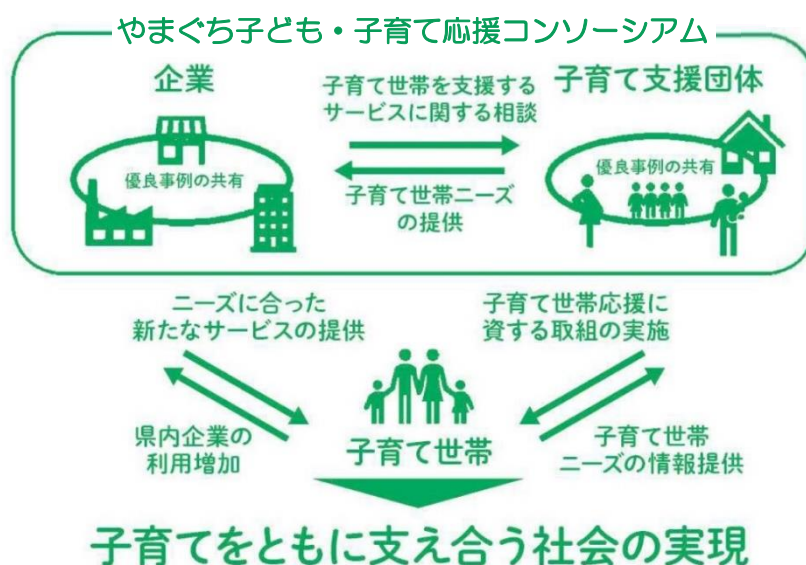
版数	発行日	改訂箇所	改訂内容
第1版	令和6年3月14日		初版発行
第2版	令和7年2月19日	P 2, P 3	新規参画企業・団体を追加

第1章 やまぐち子ども・子育て応援コンソーシアムとは

山口県の出生数が減少傾向にあるなかで、将来にわたって元気な山口県を作っていくためには、少子化の流れを止めることが重要であり、そのためには、子どもや子育て支援を「未来への投資」と位置付け、若い世代が結婚の希望を叶え、安心して子どもを産み育てることができるよう、社会全体で子どもと子育て世帯を支えることが不可欠です。

このような社会の実現に向けては、様々なサービスや経営資源を有する企業と子育て世帯のニーズやきめ細かなネットワークを有する子育て支援団体等のつながりが重要と考えていますが、まだまだ十分ではなく、子育て支援の充実に関する情報の共有や連携した新たな取組が生まれにくい状況にあります。

そこで、山口県では、企業と子育て支援団体等が分野を超えて連携・協力（連携取組）し、幅広い視点から子育て支援の取組を検討し、実行するための「やまぐち子ども・子育て応援コンソーシアム」を設立し、社会全体で子育てをともに支え合う社会の実現を目指しています。



コンソーシアム

複数の組織が集まり、共通の目的を持ち活動する「共同事業体」の意味。

本コンソーシアムでは、企業と子育て支援団体等が子育て世帯を支援するという目的を持ち、連携した取組を検討し、実行する共同事業体を指します。

1 参画企業・子育て支援団体

社会全体で子ども・子育て応援を推進するという趣旨に賛同する、企業と子育て支援団体等がやまぐち子ども・子育て応援コンソーシアムに参画しています。

(企業17社、子育て支援団体16団体 ※R7.2.19時点)

【参画している企業・子育て支援団体一覧】

山口市

- 【企業】
 - 生活協同組合コープやまぐち
 - 萩山口信用金庫
 - 山口日産自動車（株）
 - （株）いちやなぎ
 - 三笠産業（株）
 - tys テレビ山口
- 【団体】
 - NPO 法人あっと
 - ブルーライトやまぐち
 - NPO 法人やまぐちしーテ
 - 子育て Bambini
 - ママバンド
 - マザーズマイル山口
 - こころのほし〜完璧な親
 - じゃなくでいい。もっとう
 - どもの心の声を聴いて〜

長門市

- 【企業】
 - フジミツ（株）
- 【団体】
 - NPO 法人人と木

萩市

- 【企業】
 - 協和建設工業（株）
 - なかその鍼灸接骨院
- 【団体】
 - NPO 法人萩子どもセンター

下関市

- 【企業】
 - （株）みなと山口合同新聞社
 - （株）山口フィナンシャルグループ
 - （株）ニッシンコーポレーション・ダスキン 幡生支店
- 【団体】
 - 勝山保育園子育て支援センターつくしんぼの会
 - NPO 法人下関子ども子育てネット

岩国市

- 【企業】
 - （株）カワト T.P.C.
 - 河崎運輸機工（株）
- 【団体】
 - 認定 NPO 法人とりで
 - 無料自習塾 Class.com ü
 - ほっと Smile

柳井市

- 【企業】
 - あさひ製菓（株）
- 【団体】
 - こそだてネットワーク 柳井（柳井中学校応援団）

周南市

- 【企業】
 - 金近産業（株）

防府市

- 【企業】
 - （株）丸久
- 【団体】
 - 子ども家庭支援センター海北

宇部市

- 【団体】
 - なないろキッズ

2 連携取組のメリット

連携取組により、企業・団体が持つ資源やネットワークを活用することで、より効果的な事業の展開や広報活動など、様々なメリットがあります。

企業	<ul style="list-style-type: none">・団体のネットワークを活用した自社商品やサービスの広報・団体が有するノウハウを活用した子育て講座の開設など、従業員への子育て支援の拡充・地域社会との密接な関係の拡大
団体	<ul style="list-style-type: none">・企業の物資やサービスを活用した子育て世帯への支援の拡大・企業の支店や広報媒体を活用した広範囲への活動の周知・新たなネットワークの構築

3 参画にあたって

やまぐち子ども・子育て応援コンソーシアムでは、それぞれの参画者がどのような連携取組を希望しているか、意思表示をするための様式「エントリーシート」を作成していただきます。

まずは、このシートを共有して、連携相手のニーズと自身が行いたいことがマッチしているかを確認します。

参画を希望する場合は、エントリーシートを作成の上、山口県子ども政策課のアドレス (a13300@pref.yamaguchi.lg.jp) まで様式をお送りください。

様式を確認し、不備がなければ参画手続は完了となります。

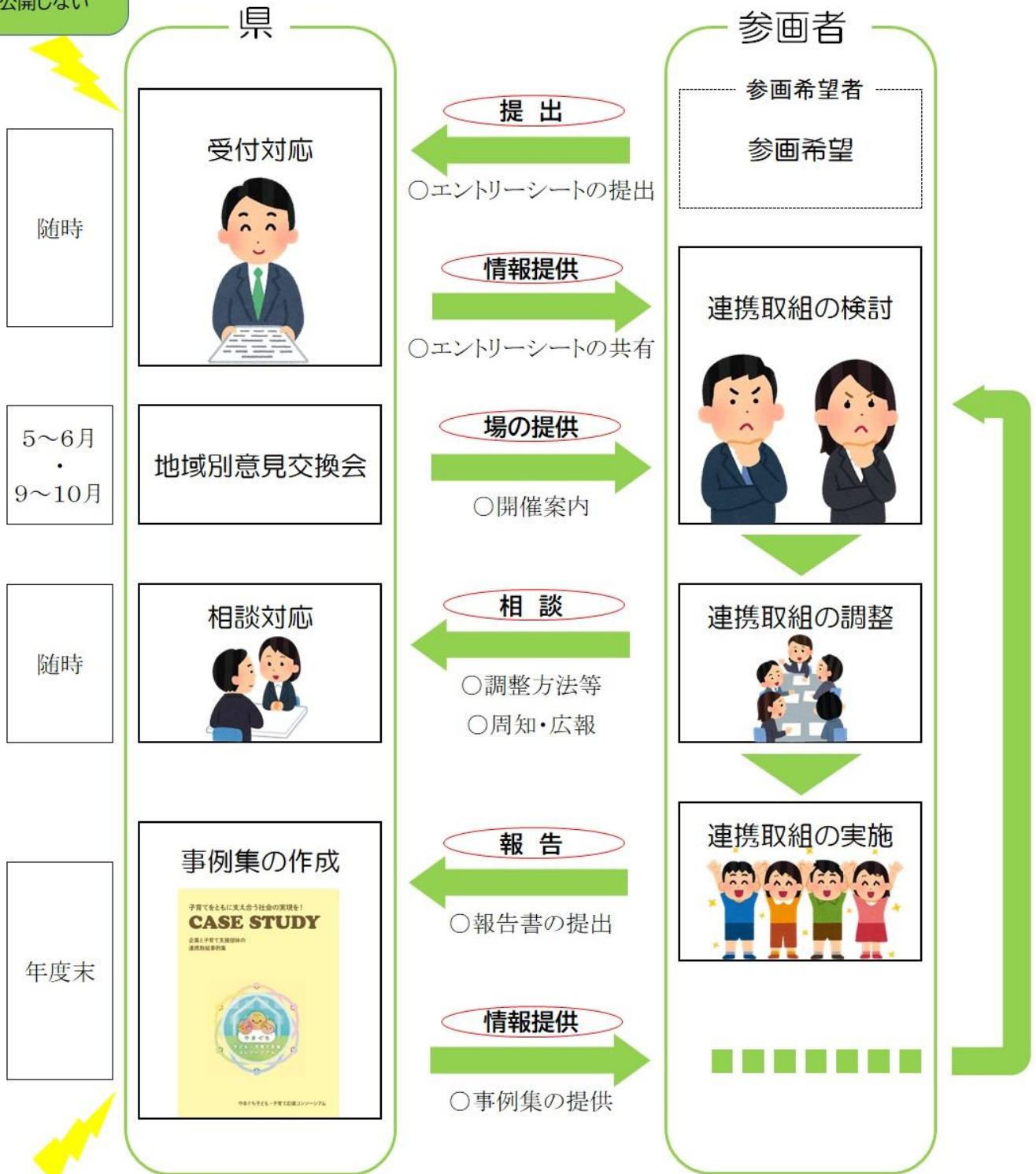
受理報告と併せて、他の参画者のエントリーシートのデータを送付しますので、具体的な連携取組に向けて御活用ください。

4 連携取組にあたって

企業と子育て支援団体による連携取組にあたっては、子ども・子育て世帯はもちろん、取組を継続的に行っていくためにも、連携相手がメリットを感じることができる取組となることが重要です。

コンソーシアム事業の基本的な流れ

県ホームページに
参画者情報を公開
※エントリーシート
は公開しない



県ホームページに
事例集を公開

やまぐち子ども・子育て応援コンソーシアム エントリーシート

●参画者情報

企業・団体名		
所在地		
事業（活動）内容		
担当者		
連絡先	TEL	
	Mail	

●希望連携取組【（テーマ）】

目的		
対象		
時期		
場所		
メリット	【企業】	
	【団体】	
分担内容 (役割、物品、費用等)	【企業】	
	【団体】	

●希望連携取組【（テーマ）】

目的		
対象		
時期		
場所		
メリット	【企業】	
	【団体】	
分担内容 (役割、物品、費用等)	【企業】	
	【団体】	

やまぐち子ども・子育て応援コンソーシアム エントリーシート（例 企業 ver）

●参画者情報

企業・団体名	株式会社山口太郎	
所在地	山口県山口市滝町1-1	
事業（活動）内容	小売業、金融業、建設業、サービス業	
担当者	山口太郎	
連絡先	TEL	083-933-2754
	Mail	a13300@pref.yamaguchi.lg.jp

●希望連携取組【 イクメン座談会 】

目的	男性社員の育休取得率の向上	
対象	育休取得対象の男性社員（5名）	
時期	6月	
場所	本社内会議室	
メリット	【企業】	社員の福利厚生の充実
	【団体】	社員を対象にした団体の活動内容の周知と接点の創出
分担内容 (役割、物品、費用等)	【企業】	会場準備、運営に伴う人員（5名）、参加者の募集受付、当日の司会進行
	【団体】	座談会内容の企画運営

●希望連携取組【 商品説明会 】

目的	子育て世帯に向けた自社製品の広報周知	
対象	子育て世帯（最低15組）	
時期	10月	
場所	団体活動拠点	
メリット	【企業】	子育て世帯をターゲットにした広報
	【団体】	自社商品を使用した子育て支援の更なる充実
分担内容 (役割、物品、費用等)	【企業】	商品の準備、説明会の講師役、運営の伴う人員（2名）
	【団体】	会場準備、参加者の募集受付、当日の司会進行

やまぐち子ども・子育て応援コンソーシアム エントリーシート（例 団体 ver）

●参画者情報

企業・団体名	山口太郎団体	
所在地	山口県山口市滝町1-1	
事業（活動）内容	子育て世帯を支援するための相談会や講座の開設	
担当者	山口太郎	
連絡先	TEL	083-933-2754
	Mail	a13300@pref.yamaguchi.lg.jp

●希望連携取組【 イクメン座談会 】

目的	団体活動の周知と男性社員との接点創出	
対象	主に育休取得対象の男性社員（10名程度）	
時期	随時	
場所	会社内会議室	
メリット	【企業】	社員の福利厚生の実現
	【団体】	社員を対象にした団体の活動内容の周知と接点の創出
分担内容 (役割、物品、費用等)	【企業】	会場準備、運営に伴う人員（5名）、参加者の募集受付、当日の司会進行
	【団体】	座談会内容の企画運営

●希望連携取組【 商品説明会 】

目的	子育て世帯への支援の実現	
対象	子育て世帯（団体の利用者20名程度）	
時期	10月	
場所	団体活動拠点	
メリット	【企業】	子育て世帯をターゲットにした広報
	【団体】	商品を使用した子育て支援の更なる充実
分担内容 (役割、物品、費用等)	【企業】	商品の準備、説明会の講師役、運営に伴う人員（2名）
	【団体】	会場準備、参加者の募集受付、当日の司会進行

第2章 連携取組に向けた準備及び取組後の対応

1 連携相手の探し方

(1) エントリーシートの確認

連携取組にあたっては、参画している相手に対し、一方的な物資の提供や講座の開設などをお願いするのではなく、お互いに取り組みたい内容が合致していることに注意しながら進めていくことが重要です。

そこで、参画時に県から送付された「エントリーシート」には、相手が希望する連携取組の内容や地域、連絡先などがまとめられています。そこから自身が行いたい取組との連携がイメージできる相手を探すのが望ましいです。

(2) 地域別意見交換会への参加

エントリーシートで自身が希望する取組を伝えても、相手が目的を誤解したり、取組に対する熱意が伝わらないことがあるかもしれません。

そこで県では、春と秋に県内2カ所で、参画者の実務担当者が対面で意見交換を行う場を設けています。(案内は参画者にメールで連絡します。)

意見交換会で相手と実際に話し合うことで、内容が明確となり、相手の熱意を感じて連携に向けたきっかけ作りができるかもしれません。

また、相手から自身が思いつかなかった取組のメリットを知ることで、新たな連携取組の創出が見込めるかもしれないので、積極的な参加を御検討ください。

なお、参加する際には、次のポイントに注意すると効率的です。

ポイント：エントリーシートを確認しておこう！

意見交換会では、参画者の実務担当者と1対1で話し合いができる時間を設けていますが、その時間は10分程度と、話しているとあっという間に時間が過ぎてしまいます。

そこで、自身が希望する取組内容(時期や場所、目的、相手への要望など)をまとめたエントリーシートを改めて確認し、当日は要点を伝えることができるように準備しておくことが大切です。

また、参加相手のエントリーシートを確認し、連携できる取組はないか、連携の実現に向けた提案ができないかをあらかじめ検討しておくことも重要です。

【過去の地域別意見交換会の様子】



(令和5年度下関会場：下関市生涯学習プラザ) (令和5年度周南会場：新南陽ふれあいセンター)

2 連携希望相手との調整

地域別意見交換会で相手とつながったり、過去に連携取組を実施している場合は、お互いに面識があるため、話が進みやすいかと思えます。

しかし、お互いを知らずに急に連絡した場合、自身のことや電話の目的など、様々なこと伝える必要があり、なかなか話が進まない場合があります。

そこで、次には、相手と接触する際の注意点をまとめています。

(1) 連絡方法

「事前連絡もなしに、直接相手の事業所や活動拠点に行くのは控えましょう」

相手の都合もありますし、不在の場合は徒労に終わる場合もあります。

そこで、エントリーシートには、担当者名と連絡先が載っているので、まずは電話またはメールで連絡をすることが望ましいです。

(2) 電話連絡時の要点

「お互いの時間を無駄にしないためにも、次の内容を簡潔にまとめて、なるべく短めに用件を伝えましょう」

電話で連絡をして、まとまりのない内容を長時間話されると、相手にも予定や用事があり、迷惑となる場合があります。

電話で伝える要点	
自己紹介	身分（所属している企業や団体名）や名前、普段の事業・活動内容を簡単に伝える。
目的	やまぐち子ども・子育て応援コンソーシアムにおいて、相手と連携した取組の実施を希望していることを伝える。
説明の可否	連携する取組についての説明に要する時間を示した上で、相手に時間があるかを確認する。 時間がなければ今後、話ができる時間の確認やメールで説明しても良いかの確認をする。
希望する連携取組	取組の内容やお互いのメリット、相手に希望すること、今までに類似の実績があればその時の様子や結果などを伝える。
今後の調整	連携の希望や関心があるかを確認する。 相手に時間を設けてもらえる場合は、対面やWEB会議などで説明し、時間がなければ資料を送付して、誤解がないようにする。

（３）直接説明する場合

電話と違い、言葉だけではなく、紙資料など視覚から伝わるものを活用することで、より効果的に相手に自身の考えを伝えることができます。

特に企業は、連携取組の実施にあたっては上層部まで意思決定を諮る必要がある場合が多く、そのときには連携取組の具体的な内容が判断材料となります。

そこで、説明する際には、連携取組内容をまとめたエントリーシート等を活用すると効率的です。

また、類似の取組実績があれば、写真などを活用すると効果的です。

（４）直接説明できない場合

お互いの予定が合わない場合もあるかと思います。

その場合はメールで、連携取組内容をまとめたエントリーシートなどを送付し、こちらの目的や希望を伝えることで、連携取組の実現につながるかもしれません。

ポイント：連携時の注意点

連携取組の実施には、時間や費用など様々なものが必要ですが、1回限りではなく、継続することが子どもや子育て世帯にとっても重要です。

よって、取組を始めるにあたっては、一方に大きな負担を強いるのではなく、Win-Winな関係となるよう、お互いの長所を生かしながら、どのようなことができるのかを考えることが重要です。

3 連携取組内容の調整

連携することが決まったら、具体的な時期や場所、方法といった取組の詳細や、集客する必要がある場合は会場の手配や広報・周知の方法など、様々なことを検討・調整する必要があります。

調整にあたっては、お互いが持っている長所を生かしながら、子どもや子育て世帯にとってどのような形が望ましいか、また、お互いのメリットが損なわれないように注意しなければなりません。

しかし、新たな取組を始める場合、何から決めていけばよいのか、また、スケジュール感が分からないこともあるかと思います。

そこで、今までの代表的な3つの連携取組の調整内容や時期を紹介しますので、それらを参考にしながら、取組が実現できるよう共通の認識を持つことで、物事を効率的に進めることが期待できます。

(1) 例①：企業の広報媒体や子育て支援団体の活動を生かした情報の周知

子育て支援団体の活動内容を店舗の一部にブースを設けて紹介したり、ポスターやチラシの一部に掲載するといった企業の場所や広報媒体を活用する取組や、企業の製品のPRブースを子育て支援団体が活動する会場に設けることで、子育て世帯をターゲットにした効果的な広報活動が見込めます。

基本的には既存の広報媒体や活動している場所を活用するため、調整する内容は比較的簡素なことが多いです。

【調整スケジュール（例）】

	3か月前	2か月前	1か月前	連携当日
広報媒体		掲載媒体選定	作成	
掲載内容	検討調整	確定		

【取組例】



(店舗の一部を活用した広報)



(会社内の掲示板を活用した広報)

【役割分担例】（企業の店舗の一部を活用した団体広報）

企業	<ul style="list-style-type: none"> ○展示場所の提供 ○ブース設置に係る調整
団体	<ul style="list-style-type: none"> ○広報展示物の作成 ○ブースの設置

(2) 例②：団体の知識や企業のサービスを生かした講座の開設

働く従業員の子育て支援の充実のためのセミナーに子育て支援団体のスタッフを派遣することで、団体の活動内容や様々な子育て支援内容を伝える取組や、子育て世帯向けのサービスや商品の説明会に講師役として社員を派遣することで、子育て世帯に直接伝えることができます。

しかし、会場の準備や集客のための広報、説明内容の調整や人材の派遣など、調整に多くの時間を要することになります。

特に、内容の検討に当たっては、会場のレイアウトや当日の進行、講座内容、役割分担など、多くの細かな調整が必要となります。

そこで、講座関係資料（資料1__P17）を参考にしながら、お互いの共通認識を深めるための資料を作成することで、効率的に物事を進めることが期待できます。

なお、相手によっては、年間の取組スケジュールを決めていることがあるため、開催時期が来年になる場合もあるかもしれません。

【調整スケジュール（例）】

	5か月前	4か月前	3か月前	2か月前	1か月前	連携 当日
会場	会場 決め			当日レイアウト 決め		
内容	検討・調整		確定			
広報		媒体検討		周知実施 SNS 県報道発表		
物品			手配			

【取組例】



（社員向け講座）



（子育て世帯向けお掃除セミナー）

【役割分担例】（子育て世帯向けセミナーの開催）

企業	<ul style="list-style-type: none"> ○セミナー内容の企画 ○講師派遣
団体	<ul style="list-style-type: none"> ○会場の貸出 ○子育て世帯への周知及び集客 ○当日の司会進行

(3) 例③：団体のネットワークを生かした商品の提供及び広報

企業は団体を通じて子育て世帯に商品を提供し、良さを感じてもらうことで新規顧客の獲得が見込め、同時にアンケートを行うことで、子育て世帯からのニーズを把握することができます。団体は単独ではできなかった子育て支援を行うことができるようになり、より多くのニーズに応えることができるようになります。

商品の提供に伴う個数や内容の調整、どのように配布するかなど、調整する内容はやや多いです。

また、贈呈式などを開催する場合は、県の報道発表を活用することで報道機関はもちろん、広範囲への広報が期待できます。活用を希望する場合は、実施日の1カ月前を目途に、概要書を山口県こども政策課まで送付してください。

【調整スケジュール（例）】

	5か月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	連携 当日
内容	検討・調整		確定	提供準備		
広報		媒体検討		周知実施・SNS 県報道発表		
物品		手配				

【取組例】



(妊婦応援パックの配布)



(子ども向けおもちゃの提供)

※アンケートや商品を同梱

【広報効果】



(山口新聞 (R3.12.8) 妊婦応援パック)

【役割分担例】(妊婦応援パックの配布)

企業	○商品の提供
団体	○パックの内容検討 ○妊娠世帯への周知及び集客 ○配布手続き

4 取組後の対応

取組後には、効果の検証を行うことが大切です。取組の調整から当日までのことや、取組の結果、子どもや子育て世帯にとってどのようなことが良かったのか、次回に改善すべき点はなかったかなど、今後の取組に生かすことが重要です。

検証にあたっては、参加した子育て世帯にアンケートを取るとより効果的です。

また、取組結果の報告書(資料2_P21)を山口県こども政策課まで提出をお願いします。取組結果を参画者間で共有し、優良事例を横展開することで、新たな取組の種にするとともに、社会全体で子育て応援を推進するという気運を定着させていくことができ、やまぐち子ども・子育て応援コンソーシアムの更なる発展につながります。

やまぐち子ども・子育て応援コンソーシアム

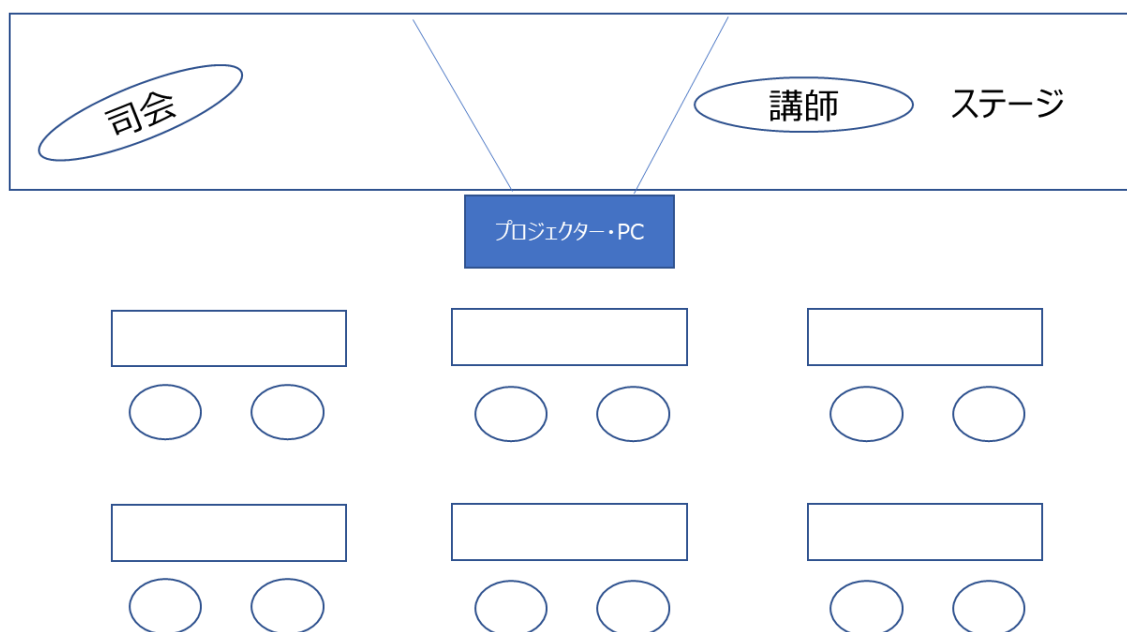
企業名×子育て団体名

〇〇講座・座談会

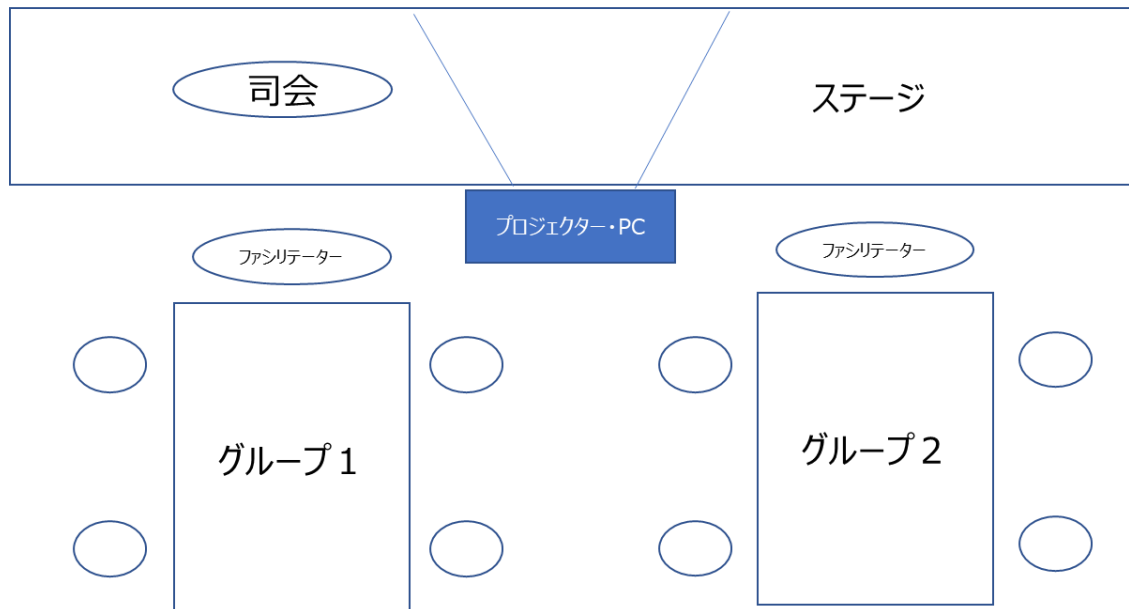
20〇〇年〇月〇日 (〇) 00:00~00:00

会場：〇〇〇〇〇〇〇〇

会場レイアウトイメージ(講座)



会場レイアウトイメージ(座談会)



参加者名簿 (参加者、関係者含めて 計〇名)

・企業名

①氏名、または属性

②

③

・子育て団体名

①

②

③

・その他

準備物 (どちらが何をどれだけ準備をするのかを確認)

・会場手配

・資料印刷

・机、椅子、ホワイトボード、マイク、スクリーン、プロジェクター、付箋、ペン、アンケート

タイムスケジュール（案） 講座 1時間から1時半程度が好ましい

次第	時間	担当	内容
はじめに アイスブレイク	00:00～00:00 (10分)	司会	目的・タイムスケジュール説明 参加者自己紹介→お名前・所属など
講座	00:00～00:00 (30分)	講師	講座
個人ワーク	00:00～00:00 (10分)	司会	気づきや質問事項の 個人ワークまたはペアワーク
全体共有 質疑応答	00:00～00:00 (20分)	司会 参加者	
おわりに	00:00～00:00 (10分)	司会	まとめ・感想等記入

タイムスケジュール（案） 座談会 1時間から1時半程度が好ましい

次第	時間	担当	内容
はじめに アイスブレイク	00:00～00:00 (10分)	司会	目的・タイムスケジュール説明 参加者自己紹介→お名前・所属など
レクチャー	00:00～00:00 (20分)	主催する企業 または子育て団体	座談会に関すること 制度の説明、ロールプレイの注意事項等
体験型 ロールプレイ	00:00～00:00 (20分)	ファシリテーター	ファシリテーターを中心としてロールプレイ
座談会	00:00～00:00 (15分)	ファシリテーター	ロールプレイからの意見交換会
全体共有 質疑応答	00:00～00:00 (20分)	司会 ファシリテーター	
おわりに	00:00～00:00 (10分)	司会	まとめ・感想等記入

タイムスケジュール（例） 企業型乳幼児とのふれあい体験

次第	時間	担当	内容
はじめに アイスブレイク	10:00～10:10 (10分)	司会	目的・タイムスケジュール説明 参加者自己紹介→お名前所属
レクチャー①	10:10～10:20 (10分)	企業	育休制度の説明
レクチャー②	10:20～10:30 (10分)	子育て団体	乳幼児ふれあい体験とは 注意事項
ふれあい体験 意見交換会	10:30～11:00 (30分)	ファシリテーター	ファシリテーターを中心として 乳幼児ふれあい体験を実施 意見交換会
全体共有 質疑応答	11:00～11:20 (20分)	司会 ファシリテーター	グループごとにでた意見を共有 質問があればここで共有
おわりに	11:20～11:30 (10分)	司会	まとめ・感想等記入

連 携 取 組 報 告 書

連携関係者	・(企業名) ・(団体名)	
取組の名称		
取組の目的		
実施状況	実施期間	令和 年 月 日～令和 年 月 日 ◆主要なイベント等の日時
	実施場所	
	対象者	
	参加人数	◆参加者 人 (うちスタッフ等 人)
	広報・周知の方法	
連携取組内容	※実施手法、スケジュール、取組内容等 (簡単で構いません。)	
取組を行ったことで得られた成果		

事務担当者 連絡先	住所	〒
	職氏名	役職 () 氏名 ()
	TEL	
	メールアドレス	

【写真（取組の様子）】

第3章 事例紹介

今までに創出された連携取組の事例を3つ紹介します。

その他にも、県ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

1 「発達障害の啓発展示」（企業の空きスペースの有効活用に繋がった事例）

（株）山口フィナンシャルグループ×ブルーライトやまぐちによる連携取組

取組に向いている
企業・子育て支援団体

【企業】店舗や事務所等に活用可能なスペースを有している企業
【子育て支援団体】自団体の取組をPRしたい団体

取組のポイント

- 企業の店舗やオフィスを子育て支援のために有効活用しながら、地域貢献やCSRに繋がる取組を行うことができる。
- 子育て支援団体にとっては企業と連携して情報発信を行うことで、普段の活動における対象とは異なる相手への活動周知が可能となり、より多くの人へ啓発活動を行うことができる。

★取組の背景と内容

- 地域のお客様との繋がりを深めるためにはどのような取組を行えばよいか日々考えています。
- 地域の方々が、銀行手続き以外にも来店する理由ができるようなお店づくりとして、支店スペースを有効活用したいと思っています！

- 発達障害啓発活動を行っていますが、どのように情報発信の範囲を拡大していくかが課題です。
- 発達障害に関する正しい情報をお伝えし、「誰もが住みやすいまち山口」を実現させたいと思っています！

山口フィナンシャル
グループ



コンソーシアムでマッチング!



ブルーライトやまぐち

銀行の支店スペースを活用した発達障害啓発展示を実施!

取組の様子と関係者の声

銀行支店が単に金融サービスを提供する場から、地域の方と接点を創出し、地域の交流の場となる取組を行うことができました！



山口フィナンシャル
グループ



ブルーライト
やまぐち

作品展示を通じて、発達障害の方や家族からのメッセージを受け取り、心を打たれたという感想を多くいただきました！

今回の取組を通じて、少しでも多くの方に発達障害について知ってもらい、理解が広まっていくと嬉しく思います！



保護者



山口銀行周南団地支店・防府支店での展示

2 「イクメン座談会」 （育休取得への理解促進に繋がった事例）

萩山口信用金庫・協和建設工業（株）×なないろキッズによる連携取組

取組に向いている
企業・子育て支援団体

【企業】男性の育休取得率の向上を目指している企業

【子育て支援団体】育休制度や子育て支援制度の発信を行っている団体

取組のポイント

- 男性社員の育休取得制度について、より詳細な情報を持っている子育て支援団体からの情報提供や意識啓発を通じて、制度や育休取得への理解を深めることができる。
- 子育て支援団体は、企業と連携することにより、支援拠点では接点を持つことが少ない父親へ直接子育てに関する意識啓発を図ることができる。

★取組の背景と内容

- 法改正により新たな育休制度が開始し、社員へ情報発信を行いたいと考えていますが、何から伝えたらよいか整理できていないことが課題です。
- 子育て支援のプロから自社社員へ直接情報提供ができるような座談会を開催したいです！

- 男性の育休取得推進を図りたいと考えていますが、お父さん方との接点が少ないことが課題です。
- 企業研修として育休取得推進を行うことで、より多くの男性に対して新たな育休制度の周知を図りたいです！

萩山口信用金庫
協和建設工業



なないろキッズ

男性社員の育休取得について周知を図るイクメン座談会を実施！

取組の様子と関係者の声

今まで社員に対して座談会形式の研修を行ったことが無かったため、社員のリアルな声を聞くことができる良い機会になりました！



萩山口信用金庫
協和建設工業



ロールプレイングの様子



なないろキッズ

制度だけでなく、日頃お母さん方が感じている想いを伝えることができたため、今後の各家庭の子育て環境の向上に繋がれば嬉しいです！

育休を取得できるという考えが無かったため、今回の座談会を通じて現在の制度を知ることができてありがたかったです！



参加社員



座談会の様子

3 「妊婦応援パック」 （自社事業を活かした子育て支援の事例）

（株）丸久×NPO法人下関子ども・子育てネットによる連携取組

取組に向いている
企業・子育て支援団体

【企業】自社商品をPRしたい企業

【子育て支援団体】特定の子育て層への支援拡大を目指している団体

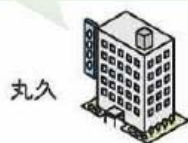
取組のポイント

- 企業としては妊婦さんや子育て世帯と親和性が高い自社商品のPRを図りながら、新規顧客獲得や新たなCSR活動を行うことができる。
- 企業との連携を通じて子育て世帯の中でもこれまで支援を行うことが出来なかった層（妊婦）との接点創出が可能となり、アプローチを行うきっかけづくりが可能となる。

★取組の背景と内容

- ネットスーパー等の新しい事業について、若い世代に対してどのように周知を図っていくかが課題です。
- 食品小売業であることの強みを活かして、直接子育て支援に繋がる取組ができるのではないかと考えています！

- 妊婦さんへの支援がしたいと考えていますが、接点を持つ場が無いため、どのように接点を創出するかが課題です。
- 妊婦応援パック贈呈を通じて妊婦さんとの接点を創出し、子育て支援団体という頼れる場があることを知ってほしいです！



丸久



コンソーシアムでマッチング！



下関子ども・
子育てネット

妊婦さんに喜ばれる商品を詰め合わせた妊婦応援パックを贈呈！

取組の様子と関係者の声

応援パック配布後の反響が大きく驚きました。妊婦さんからのニーズに応えることができ地域企業として嬉しく思います！



丸久



妊婦応援パック贈呈の様子



下関子ども・
子育てネット

2年連続で応援パックの配布を行うことができ、配布をきっかけに当団体の子育て拠点に遊びに来てくれる方が増えました！

本取組により地域に子育てネットさんのような団体があることを知ることができました。今後も頼らせていただくと助かります！



妊婦さん